



# 県に原油高の緊急対策と08年予算要望申し入れ

## 日本共産党県委員会と県議団

19日、日本共産党県委員会と県議団は、原油高に対する緊急対策と2008年予算要望を行い、日野雅夫副知事が応じました。

申し入れでは、県民生活や産業活動の全般に渡って原油高の影響が出ていることを指摘し、県として対策本部設置や相談体制の充実、低所得者向けの対策などを求めました。県内の各自治体の日本共産党議員も、それぞれ取り組むなかで、低所得者への灯油代を補助する福祉灯油支給を決めた自治体が広がっています。

厳冬期にむけ、原油高の今後の動向と影響は大きいです。今後注視し、みなさんの声を届けていきます。

08年予算要望では、原油高対策に加えて、米価下落対策、私学助成や乳幼児医療費など県民の制



度充実を求める声が強い重点項目をあげ、予算確保を求めました。また、最上小国川ダム建設中止や慶応大学生命研の研究支援費の見直しなど税金の使い途についてきびしく指摘しました。



こんにちは

# 渡辺ゆり子

2007年12月30日  
第20号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
〈連絡先〉  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅:山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

### 議会の日程

閉会中の  
委員会審査予定

- 1月22日(火) 各常任委員会
- 1月23日(水) 各特別委員会

## 若者の就業支援充実を

### 労働者の権利を守るために

#### ホームページ作製

景気・雇用特別委員会

13日開かれた景気・雇用特別委員会では若者就業支援の充実を求め、来年度の方向性を質しました。小野クナ子雇用労政課就業促進主幹は「山形市内では、本町のヤングサポートプラザで対応してきたが、来年度からは、山形テルサのハローワー

ク内に移設し、情報提供や様々な相談活動に力を入れていきたい」と答えました。

さらに、「山形労働局の是正指導で、3年間に約3億5000万円の借金不払い残業費が支払われ、違反率が20%であることを指摘し、「若者

だけでなく高校関係者からも、県として雇用のルールや相談窓口を知らせる手だてをすべきという声

が強い」と主張しました。

小野クナ子主幹は「検討して、指摘のような若者むけのホームページを作製したい」と答えました。

## ゆり子の視点

### 12月議会最終日、日本共産党県議団は、一部の議案や意見書とともに海外視察派遣に反対を表明しました。

#### 県議の海外視察派遣に反対

自由民主党の会派8人の県議が、1月にニュージーランド、オーストラリアを視察するという内容です。

海外視察そのものを否定するものではありません。必要に応じて視察

新庄市で福祉灯油の助成が約870万円ほどなどと報道されています。県民のくらしのきびしさを思えば、この海外視察はやめるべきだと思います。

約800万円  
近くの税金を使うことになり

することはあり得ることだと考えますが、4年に1度で1人100万円程度の予算というのは、何かのこぼれみかきかきと思いませんか？それに現行支給されている1カ月31万円の政務調査費を使用して海外視察も行けるのではないのでしょうか？8人で

